

島根県邑南町に残る戦国時代から明治時代の銀山遺跡

久喜銀山遺跡の見どころ

久喜銀山遺跡とは

広島県境付近に位置する邑南町岩屋・久喜・大林地区は、かつて多くの銀と鉛を産出していた鉱山遺跡で「久喜銀山」と呼ばれた天領でした。16世紀中頃、毛利元就により本格的な採掘が始められ、戦国末期～江戸時代初期にかけて最も栄え、上千軒、下千軒といわれるところには、たくさんの方が暮らしていたと伝えられています。

明治期に入ると津和野の鉱山師である堀家により再開発が進められ、一時は石見銀山(大田市)をしのぐ量の銀を産出したという記録もあります。しかし銀価格の低迷などから明治41年に閉山となりました。

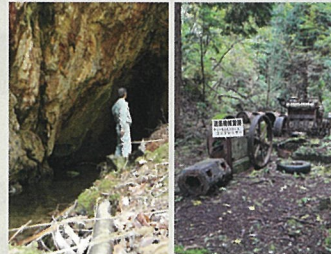
現在1500ヶ所以上の採掘跡や製錬関係の遺構が確認されており、2021年(令和3年)に鉱山遺跡としては10番目の国史跡に指定されました。

現在も地域の人たちにより、保存整備活動が行われています。

おすすめスポット



志都岩屋神社
ご神体の「鏡岩」は良縁祈願のパワースポットとしても知られています。



岩屋間歩群
昭和20年後半に再開発された際の坑道や発動機、コンプレッサー等が残されています。



床屋吹所跡
150ヶ所を超える焼竍跡や製錬炉跡が分布し、周辺には多くの採掘跡がみられます。



大林山神社

鉱山の繁栄と安全を願う神社で、本殿の裏にも間歩が開口しています。春には桜、秋には美しい紅葉が楽しめます。



山の内製錬所跡

江戸時代前期の製錬所跡で、広い範囲に多量のカラミが堆積しており、多量の銀や鉛を排出していたことを実感することができます。



久喜林間学舎(銀山資料室)

久喜銀山についての資料が多く展示されています。※見学には事前予約が必要です。



交通アクセス



WEBマップで散策!!



裏面のマップ上で
現在地を確認できます!



QRコードを
読み込んで
アクセス!

<https://stroly.com/viewer/1709555751>



大横谷間歩
戦国時代に鉱脈が発見されたことと伝えられ、久喜銀山の中で最も良質な鉱石が採掘されています。



久喜銀山水抜き間歩
明治期に水を抜くために掘られたもので、約400m奥の大きな鉱脈に当たり、多くの銀を産出しました。



久喜製錬所跡
明治期の製錬炉29基が並び、背後の斜面から山頂には有毒な煙を排出する煙道が見られます。当時の製錬滓が残るカラミ原は圧巻です。

現地ガイドと歩いて銀山の魅力を発見!!

所要時間 1～2時間(各自の車での移動があります)※パンフレット付
料金 お一人様 1,000円(税込)
グループの場合 1,000円×人数 *10人以上の場合はご相談下さい

問い合わせ先 久喜銀山ガイドの会 (0855) 83-0606
*前日までにお申し込み下さい

